

独立行政法人日本学生支援機構
留学生地域交流シンポジウム
2022年3月1日

同じ地域で学ぶ大学生 — 留学生と日本人学生 —

静岡県留学生等交流推進協議会

静岡大学国際連携推進機構

国際教育推進部門

教授 袴田麻里

静岡県留学生等交流推進協議会とは

静岡県内における留学生等の受入れの促進や地域住民との交流活動の推進を図るための具体的方策等を協議することを目的として、1989年に設置された。県内の高等教育機関、地方公共団体、経済団体及び国際交流関係団体等53団体・機関の長又は代表者等で組織され、議長を静岡大学長が、運営委員長を静岡大学国際連携推進機構長が務める。

2021年度事業の概要

「世界に発信！ 静岡のこんなもの、あんなもの

～アフターコロナに向けて～」

- 静岡県で学ぶ大学生（留学生、日本人学生）が静岡県をより深く知ることを目的に、主として野外での活動を3回に分けて実施
- 参加学生がSNSで発信
- それぞれの活動で実行委員会
- マスク着用、検温、手指の消毒、移動中での換気徹底
- ふじのくに留学生就職促進プログラム（公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム）と連携（広報、バス借上げ費負担）

| | 第1回 |
|------|----------------------|
| 実施日 | 2021年8月1日 (日) |
| 企画名 | 茶草場農法 |
| 訪問場所 | 掛川市、島田市 |
| 実行委員 | 16人 (留学生10、日本人6) |
| 参加者数 | 31人 (留学生17、日本人14) |
| 協力団体 | 掛川市 |

「(公財)中島記念国際交流財団助成」
(独)日本学生支援機構留学生地域交流事業
静岡県留学生等交流推進協議会主催

世界農業遺産 「茶草場農法」(掛川市)

Globally Important Agricultural Heritage
Systems "Chagusaba" (Kakegawa)

お茶は世界的に有名ですが、掛川市のお茶は「栽培することで自然を守る」農法で作られています。実際の栽培を見学した後、お茶のスイーツ作りを体験します。



浜松の皆さん / Hamamatsu:

8/1(日)午前9時に静岡大学浜松キャンパスからバスで出発します。

お昼ご飯を持ってきてください。 帰りは午後4時半過ぎです。/ We will start from Hamamatsu Campus at 9:00 am on 1st August. Please bring your lunch with you. We will reach around 4:30 pm to our campus.

静岡、三島の皆さん / Shizuoka or Mishima:

8/1(日)午前9時半に掛川駅からバスで出発します。お昼ご飯を持ってきてください。 帰りは掛川駅に午後4時です。/ We will start from JR Kakegawa station at 9:30 am on 1st August. Please bring your lunch with you. We will be back to Kakegawa station around 4:00 pm.

バスは半分の定員で運行します。バス乗車前に検温と消毒にご協力ください。
We will operate the bus with using half of the seats as a counter measures against the corona virus. All participants will have their temperature checked and hands sanitized. Thank you for your cooperation.

第1回

事前：茶草場農法について事前に調べ、当日のしおりに作る

事前：掛川市の担当の職員の方から事前レクチャー(zoom)を受ける

当日：栗ヶ岳(掛川市)で茶畑見学、MATCHA MORE(島田市)で抹茶体験



お茶の生産について説明を受ける



石臼で抹茶作り



お茶を立てて飲んでみる

| 第2回 | |
|------|--------------------------|
| 実施日 | 2021年9月5日 (日) |
| 企画名 | 海岸清掃 |
| 訪問場所 | 浜松市 |
| 実行委員 | 11人 (留学生8、日本人3) |
| 参加者数 | 18人 (留学生13、日本人5) |
| 協力団体 | NPO法人 サンクチュアリ ジャパン |

海岸掃除

海岸をきれいにして、ウミガメを守りましょう

開催日: 9/5(日)
14:00 - 17:00

中田島砂丘

参加費: 無料*

活動内容:
1・海岸掃除
2・レクリエーション
3・カメ保護の観察

*交通費は自己負担

締め切り: 8/20

申し込みはこちら
定員: 15人

公益財団法人中島記念国際交流財団助成による留学生地域交流事業

第2回

事前：NPO団体に連絡を取り、実施を相談

事前：海や海岸の環境保護についてNPO団体によるレクチャー

事前：実行委員がリハーサルして行程や所要時間を把握

当日：NPO団体によるレクチャー、ゴミ拾い、子ガメ放流



NPO団体によるレクチャー



ゴミ拾い開始



放流する子ガメ

| | |
|------|---------------------|
| | 第3回 |
| 実施日 | 2022年1月22日 (日) |
| 企画名 | 初詣 |
| 訪問場所 | 静岡市 |
| 実行委員 | 8人 (留学生8) |
| 参加者数 | 37人 (留学生33、日本人4) |
| 協力団体 | 一般社団法人 地域振興交流協会 |

参加費 無料

初詣ツアー

日時: 2022/01/22(土) 参加費: 無料(各自昼弁当持参)
 集合場所: 静岡大学浜松キャンパス S-port
 静岡大学静岡キャンパス 静岡大学バス停 定員: 40名

当日の流れ

08:15 浜松キャンパス受付開始
 08:30 バス出発
 09:30 静岡キャンパス受付開始
 09:45 バス出発
 10:15 久能山東照宮
 11:00 博物館
 11:45 日本平 ランチ休憩
 12:30 日本平動物園
 14:30 寿司握り体験
 15:30 エスパルスドリームプラザ自由活動
 17:00 バス出発
 17:30 静岡大学静岡キャンパス到着
 18:00 静岡大学浜松キャンパス到着

応募方法

QRコードを読み取り
 応募フォームよりご応募ください

問い合わせ
 担当者: 静岡大学国際連携推進機構 袴田
 email: hakamata.mari@shizuoka.ac.jp

参加者募集中

第3回

事前：東照宮について調べ、しおりを作る

事前：チラシを作り、(一社)地域振興交流協会と打合せながら行程作り

事前：参加者募集と参加者へ事前連絡

事前：下見して行程や所要時間を把握

当日：東照宮参詣、握り寿司体験、日本平と動物園



東照宮へ向かう石段下



握り寿司の作り方をビデオで勉強



快晴の日本平

実施形態について選択・決定の経緯

- 2020年の留学生地域交流事業
- 「広げよう、ネットワーク！ - 話っ、輪っ、和っ！2020 -」
- とともに地域でコロナ禍を乗り越える仲間として、大学生（留学生・日本人学生）が地域住民を交えて、**zoom**で関心のある**話題を話し合う**。

実施形態について選択・決定の経緯

| | トークテーマ | 留学生 | 日本人 |
|----------|---------------------|-----|-----|
| 10/24(土) | 1.自分が将来どのような人になりたい？ | 9 | 12 |
| | 2.ステイホームを楽しもう！ | | |
| 11/14(土) | 1.未来予想図Ⅱ〇Ⅱ〇 | 8 | 9 |
| | 2.理想の部屋 | | |
| 12/19(土) | 1.周りに流されないようにするには | 5 | 8 |
| | 2.snsでバズるためには...？ | | |

| | 対面企画 | 留学生 | 日本人 |
|----------|---------|-----|-----|
| 11/29(日) | 1.みかん狩り | 7 | 10 |
| | 2.料理会 | | |
| 1/11(祝) | 1.初詣 | 18 | 5 |

実施形態について選択・決定の経緯

- 実行委員11人（留学生3、日本人8）
- 実行委員会16回（5月～1月）
- 6月・・・コロナ状況不透明ながらzoom利用の企画を考える
- 8～10月・・・コロナ状況少し好転、対面企画も考え始める
- 11月～・・・コロナ状況悪化気味、活動の可否判断苦慮

実施形態について選択・決定の経緯

- コロナで閉塞感があり、交流したい
- この状況下、出て行っていいのか
- オンラインは参加したくない
- 気軽にキャンセル
- 状況が不透明で企画しても中止の恐れ
- 鹿児島、インドネシアからも応募（1名ずつ）

短期間で計画

戸外で

半日から1日で

「大学企画」を前面に

検温と消毒

実施形態を含む事業実施に係る 今後の展望、反省点等

- 授業で参加を呼びかける・・・実行委員、参加者になる
大学の企画だという安心感 違う大学から参加躊躇
- 単発企画（夏前1回、夏1回、冬1回）
小回りがきく 学生が準備しきれない
- 屋外での活動
感染リスクが低い、キャンセル減 雨天時の対応
- 移動手段の確保（定員の1/2でバス乗車）
感染リスクが低い 2倍の費用
- ワクチン接種後の実施、検温・消毒の徹底

実施形態を含む事業実施に係る 今後の展望、反省点等

- 交流活動は必要
- 短期間で小さい企画は有効だった
- 雨天時の交流活動は課題のまま
- オンライン疲れの学生と、オンラインの良さを生かした活動

鹿児島、インドネシアからも応募

ご静聴

ありがとうございました